

# S A J 公認フリースタイル競技会参加規則 (ポイントシステム)

## S A J 公 認 競 技 会 参 加 規 則

2023年10月28日改定

## 競技会参加規則について

- 1 全日本スキー連盟が公認する競技会の参加については、「開催要項」を十分に理解した上、期限に遅れないように手続きを完了する。申込方法(郵送・ネット申込等)については大会要項を確認のこと。
- 2 参加資格については、全日本スキー連盟登録会員及び、フリースタイル競技者登録者であること。18才未満の競技者にあつては親権者の参加承諾書を必要とする。
- 3 全日本スキー連盟の競技会に参加する競技者は、SAJ会員向けスキー保障制度、スポーツ傷害保険または、これに準ずる傷害保険に加入することが義務づけられている。
- 4 申込み用紙は、指定された用紙に(コピーでも可)記入もれのないように正確に記入し、各加盟団体長と、各クラブ長の捺印を必要(開催地による)とする。
- 5 SAJポイントランキング制について  
競技者は、公認競技会に参加して種目別にSAJポイントを取得することにより、競技シーズン終了時にSAJポイントランキングが与えられる。
  - 5-1 全日本選手権参加資格
    - 5-1-1 SAJポイントランキング枠  
当該年度において競技者登録を指定登録日までに完了した者。
      - 5-1-1-1 エアリアル 登録者は参加可能
      - 5-1-1-2 モーグル 女子30名 男子40名
        - 5-1-1-2-1 シード枠  
「SAJ公認フリースタイル競技会参加資格者リスト」(11月発行)において女子1位~15位、男子1位~20位の競技者。
        - 5-1-1-2-2 シーズン枠  
全日本選手権直近のSAJポイントリストにおいて、上記シード枠(5-1-1-2-1)の選手を除いた女子上位15名、男子上位20名の競技者。該当するポイントリストNo.はシーズン初めに公表する。  
但し、当該年度の全日本選手権以前に一度もA級公認競技会が開催されなかった場合は、「SAJ公認フリースタイル競技会参加資格者リスト」(11月発行)男子21位~40位、女子16位~30位に出場資格を与える。
      - 5-1-1-3 スキークロス 登録者は参加可能
      - 5-1-1-4 ハーフパイプ 登録者は参加可能
      - 5-1-1-5 スロープスタイル 登録者は参加可能
      - 5-1-1-6 ビッグエア 登録者は参加可能

- 5-1-2 シーズン特別枠  
モーグル  
全日本選手権開催前に開催された全日本スキー連盟A級公認競技会（モーグル、デュアルモーグル）において、男子1位～3位、女子1位～3位の競技者。
- 5-1-3 全日本強化指定選手特別枠(MO/DM)  
そのシーズンの全日本強化指定選手はSAJポイントランキング参加資格に関係なく、全日本選手権に参加申し込みできる。但し、強化指定Dを除く。
- 5-1-4 全日本選手権主管加盟団体推薦枠  
主管加盟団体所属の選手より最大2名までを推薦できる。(男女合計)
- 5-1-5 デュアルモーグル MO出場資格を有する者。
- 5-2 全日本ジュニア選手権参加出場資格(MO/DM)
- 5-2-1 SAJポイントリストにおいて5ポイント以上保有していること。出場資格の判断をおこなうポイントリストNo.はシーズン初めに公表する。
- 5-2-2 全日本ジュニア選手権主管加盟団体推薦枠  
主管加盟団体所属の選手より最大2名までを推薦できる。(男女合計)
- 5-3 A級公認競技会参加資格（定員130名）(MO/DM)
- 5-3-1 当該年度において競技者登録を指定登録日までに完了した者。「SAJ公認フリースタイル競技会参加資格者リスト」（11月発行）において女子1～50位、男子1～80位の競技者。
- 5-3-2 該当年度に開催されたB級公認競技会の優勝者。
- 5-3-3 主催加盟団体推薦枠  
主催加盟団体所属の選手より最大4名（男女合わせて）、推薦される選手は1シーズンあたり1コーデックスを上限とする。
- 5-4 B級公認以下競技会の参加資格（定員150名）
- 5-4-1 当該年度において競技者登録を指定登録日までに完了した者。「SAJ公認フリースタイル競技会参加資格者リスト」（11月発行）において女子50位、男子80位までに記載されていない競技者で、当該競技会エントリー締め切り直近のSAJポイントリストに記載されている競技者。
- 6 SAJポイントの計算方法
- 6-1 各競技会の優勝係数を以下のとおりとする。（HP/SS/BAを除く）
- |             |      |    |      |
|-------------|------|----|------|
| ：全日本選手権     | 男女共通 | 20 |      |
| ：全日本ジュニア選手権 | 男女共通 | 15 |      |
| ：国内FIS/A級公認 | 男子   | 18 | 女子15 |

：国内B級公認 男女共通 10  
 ：国内キッズ競技会 男女共通 7

6-2 優勝者には、競技会のレベルにより、前項の優勝係数をポイントとして付与し、競技会参加者からDNF、DNSおよびDSQを除いた競技者に、ポイントを付与する。

6-3 方式  
 以下全ての計算において小数点以下3位は切捨て小数点2位までを表示する。

6-3-1 ポイント取得者の決定  
 各競技会の参加者からDNF、DNS及びDSQを除き、競技者ポイントを付与するものとする。

6-3-2 デュアルモーグルのポイント取得者の決定  
 デュアルモーグル競技において予選をモーグル、決勝トーナメントの場合、決勝トーナメント（フェーズ）敗者は予選順位で順位得る。DNF・DNSの場合、トーナメント（フェーズ）敗者と同様となる。

6-3-3 ポイント計算（MO/DM/AE/SX）  
 各競技会の優勝係数を完走者数で除したポイント（小数点以下3位切捨て）を順位から1を引いた数に掛け、優勝係数から引く。

例 完走者数80名A級大会優勝係数 15点の場合

優勝者	15.00 点
2位	14.82 点 {15-(2-1)×15/80}
3位	14.64 点 {15-(3-1)×15/80}
4位	14.46 点 {15-(4-1)×15/80}
12位	13.02 点 {15-(12-1)×15/80}
50位	6.18 点 {15-(50-1)×15/80}
80位	0.78 点 {15-(80-1)×15/80}

6-3-4 ポイント計算（HP/SS/BA）

6-3-4-1 SAJポイントスケール【HP/SS/BA】（別紙参照）に基づきSAJポイントを付与する。スケールポイントについては以下のとおりとする。

- 1) FISレースを兼ねた競技会では、出走選手（DNSを除く）のFISポイントランキング上位5名のFISポイント平均値とする（小数点第一位を切り上げ）。
- 2) 出走選手のうち、FISポイントを保有する選手が5名に満たない場合は出走した選手のFISポイント合計を常に5で割って平均値を決定する。
- 3) 全日本選手権については360ポイント、その他のFISレースについては260ポイントを最大値とする。
- 4) FISレースを兼ねていない競技会については50ポイントとする。
- 5) キッズ競技会については5ポイントとする。

- 7 S A J ランキングポイント
- 7-1 ポイントルールはフリースタイル全種目において適用する。
- 7-2 競技シーズン  
競技シーズンは登録該年度の8月から翌年7月（大会日程終了）までとする。
- 7-3 ベースポイント（繰り越しポイント）  
以下7-3-1から7-3-4のベースポイント算出方法については、2022/21シーズンからの適用とし、2020/21シーズンは従来の繰越ポイントとする。
- 7-3-1 ベースポイントリストは昨シーズンにおける上位2試合の平均を使用する。
- 7-3-2 昨シーズンに1試合のみ参加した競技者は、そのポイントまたは昨シーズンのベースポイント、いずれかポイントの高い方から10%差し引かれる。
- 7-3-3 昨シーズン中に競技者がポイントを得なかった場合、昨シーズンのベースポイントから50%差し引かれる。
- 7-3-4 ベースポイント（繰越ポイント）が0.99以下の場合には0ポイントとする。
- 7-4 S A J ポイントリスト  
S A J ポイントリストNo. 1は11月に公開される。
- 7-4-1 競技者のポイントは、現在のシーズン中の上位2つのポイントの平均、もしくはベースポイントのどちらか高い方とする。競技者の現在のシーズン中のリザルトが1つの場合、7-4-2および7-4-3を参照すること。
- 7-4-2 ベースポイントを保有せず、ポイントが1つの場合  
競技者が現在のシーズンでポイントが1つだけの場合、そのポイントから40%差し引いたものとする。
- 7-4-3 ベースポイントを保有し、ポイントが1つの場合  
競技者の現在のシーズンのポイントが1つ、かつベースポイントを持っている場合、現在のシーズンのポイントから40%差し引いたもの、またはベースポイントいずれか高い方を採用する。
- 7-5 シングルペナルティ  
S A J ポイントは、選手が負傷した場合、7-5-3に準じて保護される。
- 7-5-1 届け出（シングルペナルティ申請）  
選手が負傷し、シングルペナルティを申請する場合、各加盟団体は S A J シングルペナルティ申請書（F S）と医師による診断書をシーズン毎の S A J が指定する期日までに提出し、承認を得なければならない。診断書には、怪我の種類と回復期間を詳細に報告する必要がある。S A J シングルペナルティ申請書と医師の診断書は、1シーズンのみ有効である。  
診断書には受傷日、受傷場所、負傷内容、おおよその完治時期、医師のサインを記載する必要がある。また、受傷日や負傷内容など、申請書の内容と診断書の内容に相違があ

る場合は受付できない。  
選手の怪我が完治しない場合は、新たな申請書と診断書を提出する。

**7-5-2**

条件

S A J シングルペナルティ申請が受理された場合、負傷日から最初のスタートまでは少なくとも8ヶ月をあけること。  
インジャリーステータスを維持するために、選手はS A J 競技者登録を継続していること。  
負傷したシーズン中に選手がS A J 公認競技会で2回以上スタートをしていないこと。

**7-5-3**

ポイント

S A J シングルペナルティ適用選手のポイントは、負傷直前のポイントが負傷した翌シーズンのNo. 1 リストに反映される。